



Subaru

男声合唱団

ニュース№597

17. 1. 17

昇定例レッスン・第11回コンサート曲目の 1部全曲を通して歌う。

1月15日

□1月15日(日)14:00~17:00昇定例レッスンが開催されました。吉川さんの体操・伊藤さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で第11回コンサートの第1部の曲「日々草」「花の歌」「ぶどうとかたばみ」「君死にたもうことなかれ」を、そして本並先生のソロによる「想像力・忘れっぽい人に」の紹介がありました。休憩をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で、「降りつむ」と「街を返せ」をレッスンしました。ピアノは西應静さん。参加者は全33名でした。



□昇は12月3日(土)開催の第11回コンサートに向けて、プログラム・演奏曲目も、昨年後半以降、技術部と運営委員会で検討を重ねてきました。12月の運営委員会でほぼ決定し、1月ではチラシの作成、11回コンサートの舞台と一緒に立つ正団員と特別団員の募集、レッスンの日の具体的開催方法等を決め、コンサートの実現に向けて動き出しました。順次お知らせしていきましょう！

□昨秋より前立腺がんの治療で闘病しておられるBRの仲谷さんが3か月ぶりに復帰され、ねむかホールのレッスンに参加されました。2か月間の入院生活を余儀なくされましたが、退院され、現在通院と投薬治療を続けておられますが、元気な姿を見せられました。11回昇コンサートと一緒に舞台に立てるよう助け合いましょう。



□連絡事項・運営委員会報告

(1) 今後の予定について

①1月29日(日)14:00～定例レッスン(第5日曜日は定例レッスン日です。)

②「2017 “がんばろ”大阪フェスタ」

“力を寄せ合い”歌って踊って元気にスタート！！

2月5日(日)守口文化センターエナジーホール

開演13:30 参加協力券800円

昇は10:00集合、練習10:15(音楽室)～

舞台リハーサル10:50～

大阪南部地域の合唱団は「人間の歌」を歌います。

服装は自由。

(2)「日本のうたごえ総会」に昇から山本宏司さんを派遣します。(予定)

2月18日(土)～19日(日) 石川サイエンスビル

こまつ 大阪南部から2名が出席します。

「日うた派遣カンパ」をお願いします。

(3)「大阪のうたごえ総会」に昇から4名の代議員が出席します。

(大橋・佃・吉川・川妻の各氏を予定)

3月5日(日)10:00～ 国労会館

2017年“がんばろ”大阪フェスタ

“力を寄せ合い”歌って踊って元気にスタート！！

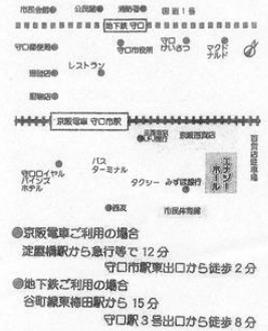
2/5(日)守口文化センターエナジーホール

開場 13:00 開演 13:30 終演 16:00 参加協力券 800円



プログラム

- ・獅子舞&横笛
- ・女性のうたごえ
- ・北西地域のうたごえ
- ・シルバーのうたごえ
- ・南部地域のうたごえ
- ・うたごえパート1・東部地域のうたごえ
- ・ゲスト「STRINGS DRAFT」音楽演奏
- ・沖縄平和ツアー報告&新作曲発表
- ・北部地域のうたごえ
- ・北河内地域のうたごえ
- ・青年&保育のうたごえ
- ・関西アコクラブ
- ・うたごえパートII・河南・阪南地域のうたごえ
- ・日本のうたごえ愛媛祭典入賞団体の演奏
- ・お楽しみ大地遊会
- ・日本のうたごえ祭典“金沢からの呼びかけ”
- ・ラスト全員大合唱



主催 大阪のうたごえ協議会

連絡先:大うた協事務局 TEL06-6969-3373

昇11回コンサートコーナー

「非情の優しさ」について「降りつむ」(永瀬清子作詞林光作曲)

非情の優しさについて 投稿者:本並美德 投稿日:2014年6月8日(日)

「降りつむ」の「雪」はこの歌に渾身の力で表出されている。誰もが打ちひしがれた戦後の悲惨さの中、詩人の「永瀬清子」が「よき春よ、立ち上がれ」と人々を力づけた。たとえば今、遅々として復興の進まない、震災にあい、すべてが破壊され、その上に原発、放射能に侵された東北…。また現代の社会現象としては若者は勉強してきたのに就職できず、できたとしてもこぎ使われ、ただ働き同然、生きるのが精一杯でお先真っ暗。そんな折しも雪が降ってきたなら正に泣き面に蜂…雪やコンコン…と子どもたちが喜び歌う「雪」が「非情の雪」となる。しかし、その非情とも思えた「雪」が静かに降りつみ、全てが覆われ、その雪中にじっと籠る事で血の滲む様に傷んだ心と身体も、次第に癒され、鎮められ、新たな力を育んでくれるのです。やがて湧き立つ春、人々は凍と立ち上がる事が出来るでしょう。時に「非情」と思えた雪は「優しかった…」という事じゃないでしょうか！

「街を返せ」と共に歌いながら深く思うこと。

11回コンサートに向けて、BR・BSパートレッスン(1月10日)感想(メンバー3人のメール交換)

○各位 11回コンサート曲は全部で24曲、「歌う会」の3曲は除外しても21曲あります。残る期間は10ヶ月。2ヶ月前には暗譜で歌えるようにし、残りの2ヶ月は感情移入と通し練習。したがって1ヶ月に3曲は完成させる意気込みがなければ間にあいません。パートレッスンも1ヶ月毎の予定が必要と思います。

個人も毎日30分は練習に時間を取るようにならなければと思います。(岡邑)

○バリトン・バスパートレッスンですが、今回(1月10日(火)のレッスン)も「花の歌」「君死にたもうことなかれ」の2曲はまだまだ合っていない、各人が自信をもって音をとれていない、ようやくむつ

かしさが理解できて、これからこの曲を自分のものにすべくやっつけていこうということが確認された段階
と思います。パートレッスンも、来た人は手ごたえを感じていると思います。

特に「君死にたもう」は非常に長い、しかも各パートがバラバラに「ウーウー」「アアア」を入れて
いく、これを暗譜で?！と考えますと覚えられるか?・・・愕然とします。

楽譜を読んでよしなら楽勝ですが・・・そうは行きますまい!

また「花の歌」「想像力/忘れっぽい人に」は新曲、ここ3・4年に入団した人も含めて、「日々草」
「ぶどうとかたばみ」「このみち」「ルスカエポーレ」「フィンランディア」「さとうきび畑」「芭蕉
布」「労働者の合唱」が新曲と同じで、難曲がずらりと並んでいます。過去に音源をCDでもらっている
曲(降りつむ・街を返せ・・・)はbrでは10回記念コンサート以後に入団された方には渡してサポ
ートする対策も必要です。(吉川)

○さて、今年末までに全曲をマスターするには、団員すべてがかなりの集中力をもって対応してい
かねばならないと痛感しています。まだ未配布楽譜も何曲かありますから、なお大変です。

とにかく、全力で取り組みたいと思います。

また、今年の団内コンサート曲「桑畑」をはじめ音取りしましたが、ものにするには、しばらく
時間がかかりそうです。4月ぐらいまで、毎回最後の30分をこの練習にあて、出来具合を見てい
きたいと思います。その時点での出来上がり状況で、「団コン」だけにするのか、「合発」挑戦に
進むのか、みんなで確認したい。強化練習(例えば通常例会後の延長練習3~40分程度、或いは
別の日に音楽センター)(鳴野)を借りるetc)を導入してでも挑戦するのか否かを含めて・・・
以上、昨日(1月10日)の練習結果の感想でした。(榎本)

「日々草」(うたごえ新聞 2006年3月27日号)

(若園さん寄稿)

2005年11月「うたごえ祭典 in 広島」合唱発表曲「ぶ
どうとかたばみ」と1位次席受賞

2006年4月23日 昴 2nd コンサート演奏曲

「昴 11 回コンサートコーナー」

を「昴ニュース」に設けます。

11回コンサートに関するいろいろな情報を
「昴 11 回コンサートコーナー」として掲載した
と思います。

演奏する24曲のコンサート曲の作詞・作曲に関
することや情報。各曲に対する各自の思い。コン
サートやレッスンに関する感想や思い等々投稿
を歓迎いたします。



「日々草」の花

2006年3月27日

うたごえ新聞



昨年の合唱発表会から

わが団 の曲

「日々草」(倉野富弘詩)

はピアノで作曲やアレ
ンジャー、司会者として
知られる加羽澤美濃が詩に

大阪・男声合唱団 昴

「日々草」

感動して作ったという、と
っておきの曲。
兵庫県のテノール歌手が
大切に歌うのを編曲し、昴
で歌い始めて1年を過ぎた
今、団員たちに愛着の1曲
になっている。日本のうた
り、はからずも他人の心を

こえ合唱発表会でも好評を
受けたが、この詩曲には、
癒しの魅力があるようだ。
「今日も一つ悲しい事が
あった 今日もまた一つう
れしい事があった 笑った
り 泣いたり 望んだり

傷つけてい
たりと、一語に尽
くせず煩雑だ。とはいえ
そのほとんどの、変哲ない
日々を支えられた愛憎の一
喜一憂もまた、新たな意欲
を燃え起たせてくれるもの
かもしれない。

昴は「日々草」を歌う中
で、共感と、一人一人の異
なる日々を重ねているので
しょう。愛を感じながら
にくんだり・・・と詩う思い、
を伝えられるか?・・・と念
じ、4月23日の2ndコンサ
ートには花として、ひと
とほ人としてに臨む。
本並美徳